

人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻（博士前期課程）

感性認知脳科学専攻前期 基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EG105	感性認知脳科学基礎論1A	1	6.0	1	春AB	応談		感性認知脳科学専攻全教員	感性認知脳科学専攻の全教員によるオムニバス形式の基礎講義を通して、各領域の研究内容について学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG106	感性認知脳科学基礎論1B	1	2.0	1	春AB	応談		感性認知脳科学専攻全教員	感性認知脳科学専攻の全教員によるオムニバス形式の基礎講義を通して、各領域の研究内容について学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG104	感性認知脳科学基礎論2	1	3.0	1	秋ABC	応談		松本 正幸	国内・外より招聘する講師による基礎編、応用編の講義、informal discussionを通して 感性認知脳科学専攻の各領域の最先端の研究動向を学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG151	感性認知脳科学セミナー	2	1.0	2	春B	応談		志賀 隆	修士論文研究の構想、計画、進捗状況のプレゼンテーションを行い、論文作成に向けての指導・助言を得る。	必修 要望があれば英語で授業
01EG111	感性認知脳科学基礎実習1	5	2.0	1・2	秋ABC	集中		山中 敏正, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 松本 正幸	感性認知脳科学の各専門領域の基礎的な知識や研究法の実践について少人数の実習形式で学ぶことにより、異分野の研究にも柔軟に対応できる発想力につながる知識的・技能的基盤を作る	要望があれば英語で授業
01EG112	感性認知脳科学基礎実習2	5	2.0	1・2	秋ABC	集中		山田 一夫, パブリティス コンスタンティン, 松本 正幸	感性認知脳科学の各専門領域の基礎的な知識や研究法の実践について少人数の実習形式で学ぶことにより、異分野の研究にも柔軟に対応できる発想力につながる知識的・技能的基盤を作る	要望があれば英語で授業
01EG113	感性認知脳科学基礎実習3	5	2.0	1・2	秋ABC	集中		首藤 文洋, 松本 正幸	感性認知脳科学の各専門領域の基礎的な知識や研究法の実践について少人数の実習形式で学ぶことにより、異分野の研究にも柔軟に対応できる発想力につながる知識的・技能的基盤を作る	要望があれば英語で授業
01EG114	感性認知脳科学基礎実習4	5	2.0	1・2	秋ABC	集中		野上 晴雄, 増田 知之, 松本 正幸	感性認知脳科学の各専門領域の基礎的な知識や研究法の実践について少人数の実習形式で学ぶことにより、異分野の研究にも柔軟に対応できる発想力につながる知識的・技能的基盤を作る	要望があれば英語で授業
01EG115	感性認知脳科学基礎実習5	5	2.0	1・2	秋ABC	集中		松本 正幸, 尾崎 繁, 山田 洋	感性認知脳科学の各専門領域の基礎的な知識や研究法の実践について少人数の実習形式で学ぶことにより、異分野の研究にも柔軟に対応できる発想力につながる知識的・技能的基盤を作る	要望があれば英語で授業
01EG116	感性認知脳科学基礎実習6	5	2.0	1・2	秋ABC	集中		宇野 彰, 太刀川 弘和, 山中 克夫, 松本 正幸	感性認知脳科学の各専門領域の基礎的な知識や研究法の実践について少人数の実習形式で学ぶことにより、異分野の研究にも柔軟に対応できる発想力につながる知識的・技能的基盤を作る	要望があれば英語で授業
01EG121	感性認知脳科学実習1	5	1.0	1	春C	集中		小川 園子, 山田 洋, 松本 正幸	学生、教員が参加し、領域を横断して行う研究発表やフレイントーミングを通して、感性認知脳科学の各専門分野での基礎研究を理解するとともに、実践的応用について学ぶ。	7/6-7/7 要望があれば英語で授業
01EG122	感性認知脳科学実習2	5	1.0	2	春C	集中		小川 園子, 山田 洋, 松本 正幸	学生、教員が参加し、領域を横断して行う研究発表やフレイントーミングを通して、感性認知脳科学の各専門分野での基礎研究を理解するとともに、実践的応用について学ぶ。	7/6-7/7 要望があれば英語で授業
01EG123	感性認知脳科学総合演習1	2	3.0	1	通年	随時		山中 克夫, 増田 知之, 山田 洋, 松本 正幸	領域横断型のグループ研究を通して感性認知脳科学の異分野を融合する研究の進め方の実際を学ぶ。	要望があれば英語で授業 平成26年度以前入学者のみ履修可
01EG124	感性認知脳科学総合演習2	2	3.0	2	通年	随時		山中 克夫, 増田 知之, 山田 洋, 松本 正幸	領域横断型のグループ研究を通して感性認知脳科学の異分野を融合する研究の進め方の実際を学ぶ。	要望があれば英語で授業 平成26年度以前入学者のみ履修可
01EG125	感性認知脳科学総合演習A	2	1.0	1	春学期	随時		山中 克夫, 増田 知之, 山田 洋, 水挽 貴至, 山田 一夫, 山田 博之, 松本 正幸	領域横断型のグループ研究を通して感性認知脳科学の異分野を融合する研究の進め方の実際を学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業 平成27年度以降入学者のみ履修可
01EG126	感性認知脳科学総合演習B	2	1.0	1	秋学期	随時		山中 克夫, 増田 知之, 山田 洋, 水挽 貴至, 山田 一夫, 山田 博之, 松本 正幸	領域横断型のグループ研究を通して感性認知脳科学の異分野を融合する研究の進め方の実際を学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業 平成27年度以降入学者のみ履修可
01EG127	感性認知脳科学総合演習C	2	1.0	2	春学期	随時		山中 克夫, 増田 知之, 山田 洋, 水挽 貴至, 山田 一夫, 山田 博之, 松本 正幸	領域横断型のグループ研究を通して感性認知脳科学の異分野を融合する研究の進め方の実際を学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業 平成27年度以降入学者のみ履修可
01EG131	専門科学英語1	2	2.0	1・2					英語で研究成果を発表する際に必要となる英語プレゼンテーションの能力を高めるトレーニングを行う。	英語で授業。 2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EG132	専門科学英語2		2	2.0	1・2	通年	応談		パブリディス コ ンスタンティン, 小川 園子, 松本 正幸	英語で研究成果を発表する際に必要となる英語プ レゼンテーションの能力を高めるトレーニングを 行う。	英語で授業。
01EG133	英語ジャーナルクラブ1		2	2.0	1・2				英語のみを使用言語として学生主導で行うジャー ナルクラブ形式の演習を通して、英語でのディ ベートスキルを磨く。	英語で授業。 2015年度開講せず。	
01EG134	英語ジャーナルクラブ2		2	2.0	1・2	通年	応談		パブリディス コ ンスタンティン, 小川 園子, 李 昇 姫, 松本 正幸	英語のみを使用言語として学生主導で行うジャー ナルクラブ形式の演習を通して、英語でのディ ベートスキルを磨く。	英語で授業。
01EG135	プレミアム論文研究セ ミナー1		4	2.0	1・2				海外研究者による指導・助言を受けると共に、英 語のみを使用言語とするセミナー合宿に参加し、 博士論文や修士論文を英語で作成することので きる基礎英語力や国際的場面でのコミュニケーション 力、ディベート力を修得する。	英語で授業。 2015年度開講せず。	
01EG136	プレミアム論文研究セ ミナー2		4	2.0	1・2	通年	随時		小川 園子, 宇野 彰, パブリディス コンスタンティ ン, 松本 正幸, 山 中 敏正, 李 昇 姫, 野上 晴雄	海外研究者による指導・助言を受けると共に、英 語のみを使用言語とするセミナー合宿に参加し、 博士論文や修士論文を英語で作成することので きる基礎英語力や国際的場面でのコミュニケーション 力、ディベート力を修得する。	英語で授業。
01EG141	「こころ」の科学演習1		2	1.0	1・2				「こころ」の科学に関するシンポジウムなどの企 画・運営を通して、異分野の研究者と討論する力 を養うことを目的とする。	2015年度開講せず。 要望があれば英語で授 業	
01EG142	「こころ」の科学演習2		2	1.0	1・2	通年	随時		李 昇姫, 松本 正 幸	「こころ」の科学に関するシンポジウムなどの企 画・運営を通して、異分野の研究者と討論する力 を養うことを目的とする。	要望があれば英語で授 業
01EG146	「こころ」の科学セミ ナー1		1	1.0	1・2				「こころ」の科学を実践している教員, 研究者, 臨 床家, 企業人による講演を通して、学生自身が新し い「こころ」の科学を創成していくうえでの指針 を得ることを目標とする。	2015年度開講せず。 要望があれば英語で授 業	
01EG147	「こころ」の科学セミ ナー2		1	1.0	1・2	通年	随時		感性認知脳科学専 攻全教員	「こころ」の科学を実践している教員, 研究者, 臨 床家, 企業人による講演を通して、学生自身が新し い「こころ」の科学を創成していくうえでの指針 を得ることを目標とする。	要望があれば英語で授 業
01EG161	感性認知脳科学特講1		1	1.0	1・2	通年	集中		感性認知脳科学専 攻全教員	感性認知脳科学の各領域の研究内容、手法、最先 端の知見等について、より専門的に学ぶ。	要望があれば英語で授 業
01EG162	感性認知脳科学特講2		1	1.0	1・2	通年	集中		感性認知脳科学専 攻全教員	感性認知脳科学の各領域の研究内容、手法、最先 端の知見等について、より専門的に学ぶ。	要望があれば英語で授 業
01EG163	感性認知脳科学特講3		1	1.0	1・2	通年	集中		感性認知脳科学専 攻全教員	感性認知脳科学の各領域の研究内容、手法、最先 端の知見等について、より専門的に学ぶ。	要望があれば英語で授 業

感性認知脳科学専攻前期 専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EG901	感性科学特別研究A		7	1.5	2	春ABC	随時		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、感性科学領域 の修士論文研究を行う。	選択必修 要望があれば英語で授 業
01EG902	行動科学特別研究A		7	1.5	2	春ABC	随時		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、行動科学領域 の修士論文研究を行う。	選択必修 要望があれば英語で授 業
01EG903	神経科学特別研究A		7	1.5	2	春ABC	随時		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、神経科学領域 の修士論文研究を行う。	選択必修 要望があれば英語で授 業
01EG911	感性科学特別研究B		7	1.5	2	秋ABC	随時		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、感性科学領域 の修士論文研究を行う。	選択必修 要望があれば英語で授 業
01EG912	行動科学特別研究B		7	1.5	2	秋ABC	随時		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、行動科学領域 の修士論文研究を行う。	選択必修 要望があれば英語で授 業
01EG913	神経科学特別研究B		7	1.5	2	秋ABC	随時		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、神経科学領域 の修士論文研究を行う。	選択必修 要望があれば英語で授 業
01EG921	感性科学特別研究S		7	1.5	2	通年	集中		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、感性科学領域 の修士論文研究を行う。	要望があれば英語で授 業 履修にあたっては専攻 長の許可が必要
01EG922	行動科学特別研究S		7	1.5	2	通年	集中		感性認知脳科学専 攻前期全研究指導 教員	研究指導教員の指導・助言のもと、行動科学領域 の修士論文研究を行う。	要望があれば英語で授 業 履修にあたっては専攻 長の許可が必要

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EG923	神経科学特別研究S	7	1.5	2	通年	集中		感性認知脳科学専攻前期全研究指導教員	研究指導教員の指導・助言のもと、神経科学領域の修士論文研究を行う。	要望があれば英語で授業 履修にあたっては専攻長の許可が必要
01EG951	感性認知脳科学研究法1A	2	1.5	1	春ABC	応談		感性認知脳科学専攻全教員	所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG952	感性認知脳科学研究法2A	2	1.5	2	春ABC	応談		感性認知脳科学専攻全教員	所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG961	感性認知脳科学研究法1B	2	1.5	1	秋ABC	応談		感性認知脳科学専攻全教員	所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG962	感性認知脳科学研究法2B	2	1.5	2	秋ABC	応談		感性認知脳科学専攻全教員	所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。	必修 要望があれば英語で授業
01EG971	感性認知脳科学研究法1S	2	1.5	1	通年	集中		感性認知脳科学専攻全教員	所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。	要望があれば英語で授業 履修にあたっては専攻長の許可が必要
01EG972	感性認知脳科学研究法2S	2	1.5	2	通年	集中		感性認知脳科学専攻全教員	所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。	要望があれば英語で授業 履修にあたっては専攻長の許可が必要